

新春座談会

深谷市親善大使からスポーツのまちづくりや深谷のいいところ、今後の目標について貴重なお話を聞きました。

もっと知ってほしい! **パラスポーツ**のこと

もっと気付いてほしい! 深谷のいいところ

小島 進 (深谷市長) × 世界で活躍するパラリンピアン (パラリンピック出場経験者)



高桑早生 (たかくわ さき)  
上柴地区出身  
ロンドンパラリンピック陸上競技  
女子100m・200mで7位入賞

パラスポーツへの理解は少しずつ進んでいます

**高桑さん** 私はスポーツが盛んなまちが、パラスポーツにも目を向けたらどうなるのかということに興味があります。  
特にパラスポーツに関しては、まず知ってもらわないと理解が進みません。誰もがどんな形でもいいから、ふつと見て、「ああこんなものもあるんだな」と思え

**小島市長** ええ。バレーボールやバスケットボール、サッカー、ラグビー、卓球など多くの競技で全国大会に出場しています。  
**健全者・障害者の垣根を無くしたまちづくり**

**小島市長** 皆さんは競技者として世界を相手に大活躍されていますが、スポーツが盛んなまちづくりには、何が重要だと考えますか。  
**阿部さん** パラスポーツに限らずスポーツ界全体の傾向として、いろいろな競技に興味を持つチャンスが減っていると思います。種目に関係なく、一生懸命やっている人たちに対して市民一丸で応援することができれば、競技者のモチベーションがより上がっていくと思います。

**小島市長** 市民全体で広くスポーツに関心を持つことが重要になりますね。  
**阿部さん** パラスポーツについてお話をすると、関心を持ってもらうためには、今以上に障害者と接する機会を増やすことが重要だと思います。  
**村岡さん** 『競技環境の整備』よりも『競技を知ってもらうこと』がとても大事だと思っています。  
**小島市長** 競技を広く知ってもらうことで、応援も今まで以上に増



深谷市長  
小島 進 (こじますすむ)

『心のバリアフリー』も進めなければなりません



阿部敏弘 (あべとしひろ)  
花園地区在住  
ソチパラリンピックアルペンスキー  
男子立位大回転で6位入賞

障害者だからではなく、いち選手として見てほしい

**阿部さん** 実際にパラスポーツを見てもらえればその迫力がわかります。「車いすだからすごい」、「障害者だからすごい」ではなく、いち選手としてみると真のすごさを感じる事ができると思います。  
**高桑さん** これまで、パラスポーツでは、障害者という観点から厚生労働省と関わる事が多くありました。でも、昨年韓国で開催さ

**阿部さん** 実際にパラスポーツを見てもらえればその迫力がわかります。例えば、『ふかやシティハイパーマラソン』に車いす部門を設けたりして、障害者と関わる事ができる機会が増えるといいなと思います。  
**小島市長** 実際にパラスポーツを見てもらえればその迫力がわかります。例えば、『ふかやシティハイパーマラソン』に車いす部門を設けたりして、障害者と関わる事ができる機会が増えるといいなと思います。

**村岡さん** 『競技環境の整備』よりも『競技を知ってもらうこと』がとても大事だと思っています。  
**小島市長** 競技を広く知ってもらうことで、応援も今まで以上に増

**高桑さん** これまで、パラスポーツでは、障害者という観点から厚生労働省と関わる事が多くありました。でも、昨年韓国で開催さ



村岡桃佳 (むらおかももか)  
川本地区在住  
ソチパラリンピックアルペンスキー  
女子座位大回転で5位入賞

皆さんからの応援が私たちの力になっています

えますよね。応援が増える競技にもプラスになりますか。  
**村岡さん** 皆さんからの応援で、もっと「頑張ろう」という気持ちが一層強くなります。

競技を知ってもらうためにも、健全者と障害者が一緒に集まる『ふれあいスポーツ大会』のようなイベントに、たくさんの方が気軽に集まれるようにしてもらえると嬉しいです。特に小学生。子どもたちがたくさん参加すれば、家に帰って家庭の話題にしても、大きな効果になると思います。  
**高桑さん** 深谷市はとてもスポーツが盛んですよね。

れ、私も旗手を務めさせていた仁川アジアパラ競技大会では、文部科学省が担当になり、実際に障害者スポーツと健全者スポーツの間の垣根が低くなっているのを感じました。  
**小島市長** 確かに深谷市でもスポーツ推進担当と障害者スポーツ担当は分かれています。ある部分では国より遅れてしまっているところもあるように感じます。これからはスピード感を上げて進めていきたいですね。

市外へバリアフリーの施策に関する視察に行ったときのことを思い出したのですが、そのまちは、



▲座談会では和やかな雰囲気の中、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのバレーボールキャンプ誘致活動についても話題に上りました

て、深谷市の農業は市の産業の中でもやはり重要なものだと思います。しかし、昨冬の大雪被害で大打撃を受けてしまいました。多くの皆さまから「ふかや・農業応

援寄附金」などの協力もあり、一定のところまではハウスの再建が進んできています。これから深谷市の農業の再建に力を尽くしていきたいと思えます。



▲平成24年度『彩の国ふれあいピック春季大会』100mに出場した時の高桑選手

決して全ての施設がバリアフリー化されているわけはありませんでした。しかし、それを補うように、そこに暮らす人々が自然と障害を持つかたに手を差し伸べることでできるような関係づくりができていました。

ハードの部分で、道路をバリアフリー化することももちろん大事なことだとは思いますが、市民全体が、そのまちの人たちのような気持ちを持つことができるようになることが理想です。まさに個人の意識改革、『心のバリアフリー』も進めていかないとけませんね。

ネギがおいしい！野菜がおいしい！

深谷は魅力がいっぱい

**小島市長** 皆さんはパラリンピアンであるとともに深谷市親善大使として深谷市のPRをお願いしていますが、深谷市をどのように紹介してくださいませるか。

**村岡さん** まず、ふっかちゃんのアピールです。

**小島市長** やっぱ、深谷市はふっかちゃん抜きには語れないですね。私もPRをするときにふっかちゃんは欠かせません。

**村岡さん** 大会の宿泊先でふっかちゃんパーカーを着ていたら、たくさんの方の出場者に声を掛けられました。ふっかちゃんをきっかけに話が広がるのです。ふっかちゃんから入って、「ネギが有名だよ」など深谷市の紹介をしました。

**阿部さん** 私も必ずふっかちゃんの話は話します。この前もゆるキャラグランプリで準グランプリを獲得しましたし、最近ではメディア出演も多く、全国的にも有名になってきていますよね。

**高桑さん** アジアパラ競技大会では、ふっかちゃんのピンバッジをリュックに付けていたら、海外の

選手が「ピンチエンジ！」と声を掛けてきました。これはすごい人気でしたよ。その時は一つしか持っていなかったのですがお断りしました。次は交換できるようなたくさん持っていこうと思いた。

**小島市長** ふっかちゃんの魅力は万国共通ですね。そして最近、特にふっかちゃんの活躍を通して深谷市がひとつになっているように感じます。これもふっかちゃんの大きな魅力です。

**高桑さん** ふっかちゃん以外にも、深谷市は魅力がたくさんあります。全体では人も商業施設も数が減っていると思いますが、それでも人の流れや活気がまちの至るところに見え、にぎわいが決まると消えないという点が非常に素晴らしいことだと思います。

**阿部さん** 深谷市は以前住んでいたところと似ていて、生活するのにとても適していると思えます。地域性があるいいまちですね。

**村岡さん** 私は、「ネギがおいしい、野菜がおいしい」、これで

子どもたち全てが

『可能性のスタートライン』に立てるまちに！

**小島市長** 最後に今後の目標などをお聞かせください。

**村岡さん** 今の大きな目標は2018年に韓国で行われる平昌パラリンピックでメダルを獲得することです。そのために、まずはシニアズのワールドカップや世界選手権でメダルを目指したいです。また、大学進学も決まったので、勉学との両立も頑張ります。

**高桑さん** 来年度からいよいよ社会人となり、就職先では仕事をしながら練習することになりました。そして、2016年のリオパラリンピックに向けて頑張っています。

まずは選考を通過することが一番の目標ですね。昨年のアジアパラ競技大会では、メダル争いに加わるタイムを出せたので、今年の世界選手権まで調子を落とさずに頑張っていきたいです。

**小島市長** 二人ともリオ、平昌パラリンピックへの戦いが始まっているんですね。

**阿部さん** 私は、今後は自分の技術や経験を子どもたちに伝えてい



▲2014年に行われたソチパラリンピック会場での阿部選手と村岡選手

すね。

『地産地消』って素晴らしいなと感じることがあったんです。実は、他の場所でお味噌汁に入っていたネギを食べたら、普段食べるネギと味が全然違ったのです。

**小島市長** やっぱ、他のまちでネギを食べると、『深谷ねぎ』のおいしさがより際立ちますよね。

**村岡さん** 学校給食でも食べていたので、甘いネギが当たり前だと思っていましたので驚きました。

**小島市長** 東京へも通勤圏で、自然があって、農業は盛んと、『深谷』というまちには、最高の付加価値があると思っています。そし

きたいです。その時には、障害者・障害者に関係なく、惜しみなく教えていきたいと思います。

**小島市長** 深谷市が平成24年にふっかちゃん子ども福祉基金を作ったのは、阿部さんの今後の取り組みのような考え方が、根底にあるのです。

家庭環境が大変であったり、障害のあるお子さんが何かを始めたと思った時に、スタートラインにすら立てないということをなくしたいと考えたことがきっかけでした。

**阿部さん** そつししないと、何でもダメなことを先に考えてしまいがちですね。

**小島市長** 市ではそのきっかけづくりのお手伝いをしたいと思っています。

皆さん、本日は貴重なお話をありがとうございました。これまでに以上に深谷市は、スポーツが盛んなまちを目指して、皆さんの後に続く選手が出てくることを期待しています。皆さんのますますの活躍をお祈りしています。